

令和3年9月17日

極太牛角岩津ねぎだより

朝来市岩津ねぎ生産組合・朝来農業改良普及センター

基本の栽培技術

- ★極太牛角岩津ねぎの栽培は、特別栽培を実践する。
- ★特別栽培とは、兵庫県が策定した慣行栽培の農薬成分数(29成分)を半分以下、化学肥料の窒素成分(51kg/10a)を半分以下で栽培する方法です。
- ★農薬の使用回数(成分数)は、育苗期間、除草剤を含め14成分以下で栽培する。
- ★化学肥料の使用を控え、有機肥料主体で栽培する。

現在の生育は、定植時期により若干の生育差があります。また、土壌病害やネダニ被害により欠株が見られます。今後は、天候に注意して以下の作業を実施します。

1 排水対策の徹底を

ネギは湿害に弱い野菜です。

今後、台風や秋雨前線の影響から局地的な豪雨も予想されます。右写真のように、条間に排水溝を設置し、額縁明渠と連結し、排水対策に努めましょう。



2 中耕培土・追肥は気温が下がってから実施

9月中旬から、襟首の長さを確認し、11月までに3～4回に分けM字土寄せを実施します。また、9月中旬からの土寄せでは、下記の表を参考に追肥を実施します。

肥料名	追 肥 (kg)			
	9月中旬	10月上旬	10月下旬	11月中旬
ファームパワーフュッシュ	40	40		
燐硝安加里S604	20	20	30	20

4 病害虫の防除について

ネギアザミウマ、黒斑病、べと病の発生が確認されています。極太牛角は農薬の使用回数が制限されています。下記の表を参考に病害の適期防除に努めます。

病害虫の発生条件等は、同封の「岩津ねぎだより」を参考にしてください。

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率 施用量	使用時期	使用回数
9月	軟腐病・白絹病 (臨機防除：発生時)	バリダシン液剤5	500倍液	※ 収穫前日まで	※ 2回以内
	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前まで	3回以内
10月	黒斑病 さび病 べと病	アミスター-20707Aフル	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内
		テーク水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内
11月	さび病 べと病 黒斑病	アミスター-20707Aフル	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内

※バリダシン液剤5の施用時期、使用回数が登録拡大されました。